

ボッチャとは？



「ジャック」と呼ばれる白いボールをめがけて、赤と青のボールを交互に投げ、どれだけジャックボールに近づけられるかを競う、カーリングに似た競技です。

パラリンピックの正式競技で、個人戦と団体戦があります。



みんなのできるスポーツ！

ボールを手で投げることのできない人は、足で蹴ったり、写真の「ランプ」という小さなすべり台のような道具を使います。



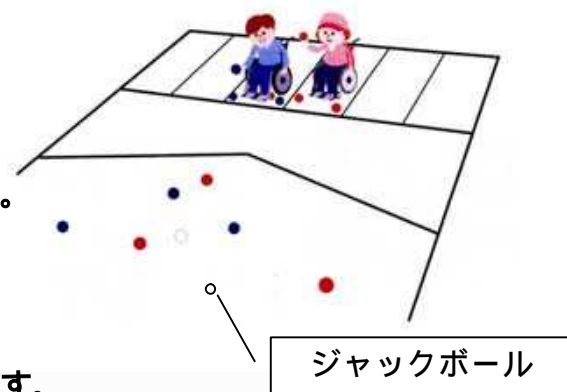
ランプ

ボッチャのルール

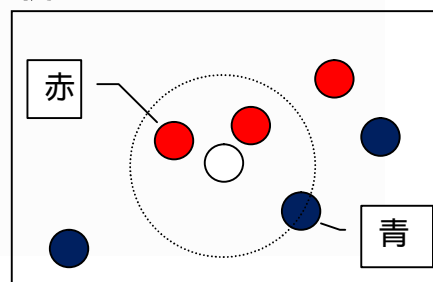
先攻（赤）がジャックボールを投げます。
ジャックボールめがけて、先攻側から1球ずつボールを投げていきます。
それ以降は、ジャックボールから遠い方が投げます。
途中で片方のボールが全てなくなっても、残りのボールを全て投げ切ります。
赤青ともに全てのボールを投げきったとき、ジャックボールに一番近いボールのある方が勝ちです。
ジャックボールに一番近い相手のボールより、いくつ近くにボールがあるかで、点数が決まります。（1球につき1点）

例の場合は、赤に2点が入ります。
これで1セットです。

1試合、全部で4セット行い、合計点で競います。



例



参考文献：公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会監修『まるわかり！パラリンピックパラリンピックってなんだろう？』文研出版,2014年

写真出展：wikipedia

イラスト出所：社団法人 日本ユニバーサルボッチャ連盟ホームページ、アーツカレッジヨコハマの学生の皆様作成